

台風・暴風等の時	
<登校前> 6:00の時点で「伊豆北」に「 大雨または大雨暴風警報 」が発令(177天気予報)されている場合 → 6:30までに連絡網にて「 登校 」が「 休校 」を伝えます。 (※)その他、登校が危険と判断される状況の時も「休校」の連絡をします。 (※)「登校」との連絡があっても、居住地区の状況により保護者が危険と判断した場合は登校を見合わせ、その旨を学校に連絡してください。	
	
<登校後(在校中)> ・原則として学校にとどめます。 ・授業終了後も下校できないと判断される場合 → 学校より「 引き渡し 」(迎えの依頼)を連絡網にていたします。	

東海地震を含む南海トラフ地震に関する情報発令時 ・ 大規模地震発生時			
	観測情報など	大規模地震発生の可能性が高まり、避難勧告等が出た場合	大規模地震 発生時
登校時	↑	原則として、帰宅する。	・頭を守る。 ・揺れがおさまったら安全な場所へ。
在校時			平常活動 集団下校(各地区まで教師引率) ※すぐに発生する可能性があるなど、切迫度が高い場合には学校で保護します。
在宅時	↓	・登校を見合わせ、自宅待機か一時避難場所に避難する。 ・生徒は、家族や自主防災本部の指示に従う。 (※)自宅を離れ避難する時のために、避難場所を玄関に貼るなど安否確認がとれる準備をしておきましょう。 (※)大規模地震の翌日以降は、学校からの連絡があるまで自宅待機をさせていただきます。	・安全な場所に避難する。 

学校(校外活動)でケガをした時・病気になった時

◎ 学校でケガをした時、病気になった時

連絡… 保護者と連絡を取り医療機関を決める

学校 ← 保護者 (すぐに連絡がとれるようにしてください)

① 確認 → ② 受診 → ③ 医師の診断 → ④ 診断結果の報告 → ⑤ 出席停止用紙(「出席停止通知」並びに「予防すべき感染症に関する証明書」を学校までとりに来てください。)

① 保護者に学校に向かっていたとき、子どもを医療機関へ連れて行ってもらいます。

<急を要さない時>
①保護者に学校に向かっていたとき、子どもを医療機関へ連れて行ってもらいます。

<急を要する時>
②学校で医療機関に連れていきます。(救急車を要請する場合があります)

(※)保護者は保険証をもって病院に行ってください。受診結果を学校に報告願います。

◎ 校外学習中にケガをした時、病気になった時

担任等(引率者) → 学校

けがの状態・病気の程度や状況、緊急の対応の仕方について確認する。それ以後の対応は、学校での場合と同じです。

(※)現地が遠距離で、駆けつけるのが難しい場合は学校と家庭で連絡を取り合い対応します。

インフルエンザ等感染症の疑いがある時

◎ 発症の疑いがある場合

登校は控えてください。

学校 → 保護者 → 病院

①確認 ②受診 ③医師の診断 ④診断結果の報告 → 感染症でない場合は元気になったら登校

<流れ>
 ① 保護者・学校で事実の確認
 ② 病院にて受診
 ③ 医師の診断
 ④ 診断結果の報告 → 感染症でない場合は元気になったら登校
 (感染症に罹患した場合)
 ⑤ 出席停止用紙(「出席停止通知」並びに「予防すべき感染症に関する証明書」を学校までとりに来てください。)
 ⑥ 再受診(必要事項の記入要請)(療養・医師の指示通り)
 ⑦ 医師による「感染症治癒」の診断
 ⑧ 「予防すべき感染症に関する証明書」を持参して登校

不審者・凶悪事件等が報告された時

学校へ侵入	・全職員で安全確保する。 → 警察、保護者に連絡 「引き渡し」 → 生徒に動揺がある時や下校が危険な時にお願いします。
登下校時に出没	・駆け込み110番の家などに避難する。 ・まず、 警察 0558-76-0110 に連絡(時間、場所、状況等不審者の特徴を) ・その後、学校へ連絡 → 登校は、動揺がおさまってから。
近隣で不審者情報等	・状況に応じて、集団下校・引き渡し等の判断をし、連絡網にて伝達します。 ・校区内での凶悪事件発生など、登下校に危険がある場合も同様です。 (※)対応にご協力をお願いします。

登下校中の交通事故発生時

① 連絡を受け次第、現場に急行
 ・救急車等の要請・応急処置
 ・警察への連絡
 ・怪我人に同行して病院へ
 ・学校→家庭間の連絡確認

② 学校による現場確認
 ・現場確認(状態、時刻、場所、状況など)
 → 再発防止策の検討をします。

Jアラート発令時

在校時	【屋外にいる場合】 ・速やかに屋内に避難し、頭を守る。 【屋内にいる場合】 ・できるだけ窓から離れ身を低くし頭を守る。 → 緊急放送等の指示をしっかりと聞く。
登下校時	・近くの建物に入る。なければ、物陰に身を隠し、地面に伏せて頭を守る。 ・けががある場合は近くの人に助けを呼ぶ。 ・家庭か学校のどちらか近い方に避難する。 ・安全が確認されたら登下校を再開する。
在宅時	・自宅待機する。 ・保護者が安全と判断できたら登校する。

生徒の安全を みんなで守りましょう!